

## マイアミ・デード郡水インフラ投資計画説明会の開催(報告)

2月28日(火)、在マイアミ日本国総領事館の依頼を受け、マイアミ・デード郡水・下水道局(Miami-Dade Water and Sewer Department)は、日系企業向けに「マイアミ・デード郡水インフラ投資計画説明会」を開催し、フロリダ州内外から日系企業12社が参加しました。

マイアミ・デード郡水・下水道局ソラ局長(Lester Sola)が、同局の「Capital Improvement Program」についてプレゼンテーションした後、同局各担当者と日系企業との名刺交換、話し合いが行われました。その後、参加者はバージニア島に所在する同局の Central District 下水処理場を視察しました。

ソラ局長はプレゼンの中で、同郡が米国南東部最大規模の1300億ドル以上の水インフラ整備計画を有していることを説明しました。具体的に、同郡は、下記3つの主な目標を掲げています。

- 1) 上水道システムの修繕/更新
- 2) 下水道の取り換え
- 3) 新しいプラント、井戸、ポンプ場、電気、技術などの大型投資。(現在、海に排水している2管のパイプを2025年までに交換すべく、地下3,000フィートに排水する25の注入井戸を建設)。

この説明会をきっかけとして、今後、同郡の水インフラ投資計画に日系企業が参画することが期待されます。

なお、本説明会について、マイアミ・デード郡が下記プレスリリースを発表しました。

<http://www.miamidade.gov/releases/02-28-2017-wasd-japan-visit.asp>